

令和4年度 生命地域妙高環境会議事業報告について

1. 生物多様性保全活動の推進

○いもり池のスイレン駆除活動の実施

- ・第1回 6月18日、19日 2日間 地元地区との協働（計53名）
水面藻刈船によるスイレンの刈取り
防草シートの連結作業及び湖底敷設のための土嚢作成
- ・第2回 6月23日～24日 2日間 地元地区との協働（計33名）
防草シートの湖底敷設作業（防草シート1,600㎡）
- ・第3回 10月14日～15日 2日間 地元地区との協働（計34名）
手漕ぎボートによるスイレン刈取り

○笹ヶ峰高原におけるオオハンゴンソウの除去

- ・8月19日（計64名）
令和4年度笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託発注
駆除作業の効果を定量的に把握し、今後の活動指標とするため発注したもの

○いもり池湿原ヨシ刈り

- ・10月8日（計12名）
いもり池湿原南端一部においてヨシ刈りを実施（ビジターセンターとの協働）

2. プロジェクトの推進

○火打山自然再生プロジェクト

- ・クラウドファンディング充当事業
「令和4年度 頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査事業」
内 容：①繁殖期及び非繁殖期におけるライチョウ個体数調査
②雪上レクリエーション活動エリアでのライチョウ生息状況調査

○奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト

- ・ふる里の川普請（渋江川クリーン作戦）
7月30日 25名（環境サポーターズ、里山保全クラブ、県退公連）

《関連事業》

- ・登山道整備（観光商工課）
- ・いもり池周辺におけるヨシ刈り（環境生活課）
- ・里山の整備活動（妙高里山保全クラブ等）
- ・ニホンジカ行動把握調査（森林管理署）
- ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲技術講習会（新潟県、環境生活課）
- ・自然体験プログラムの開催
（国立妙高青少年自然の家、妙高高原ビジターセンター）
- ・あまとみトレイルの開通（妙高戸隠連山国立公園連絡協議会）

3. 情報発信機能の充実

- 火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム「火打山ナビ」の運用
- 生命地域妙高環境会議ホームページによる情報発信、ホームページ改修

4. 環境サポーターズ制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等への協力
 - ・ R4.3 末現在 334 名が登録（令和 3 年度から 24 名の増）
いもり池スイレン除去活動、ライチョウ生息環境保全活動（イネ科植物除去）、渋江川クリーン作戦、オオハンゴンソウ除去活動、いもり池湿原ヨシ刈りへの参加
- サポーターズグッズ（キャップ）の追加作成

5. 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に則った指定希少野生動植物の保護
 - ・ 指定希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板の設置
4 月から 10 月まで
 - ・ 希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動
通年
- 高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施
 - ・ 盗掘防止看板の設置 5 月から 10 月まで

6. ミズバショウ増殖事業

- ミズバショウ群落の再生事業
ミズバショウの育苗

7. 笹ヶ峰高原除草清掃活動

- 笹ヶ峰集団施設地区歩道草刈り及び清掃活動
 - ・ 遊歩道の草刈り、倒木処理及び清掃活動等
5 月から 10 月まで

8. エコツアーリズムの推進

- 《関連事業》
 - ・ いもり池ガイドウォーク、きのこと観察会、バードウォッチング、スノーシュー講座、妙高山・火打山登山案内、地図読み講座 等
(妙高高原ビジターセンター)
 - ・ チャレンジキャンプ 2022（国立妙高少年自然の家）

9. 自主財源確保に向けた取組

- 郵便振替、かざして募金、第一スーパー、ビジターセンター募金箱等からの寄付
142,351 円
- 《関連事業》
 - ・ ライチョウ保護のためのクラウドファンディング（環境生活課）

令和4年度 生命地域妙高環境会議一般会計決算報告について

1. 収入

(単位：円)

款	項	目	予算額	収入済額	増減額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	5,419,000	5,270,654	△148,346	市負担金※1
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	170,844	170,844	0	令和3年度からの繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	532,000	532,000	0	環境省からの委託費
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	78,156	142,370	64,214	寄付金142,351円、預金利息19円
合計			6,200,000	6,115,868	△84,132	

2. 支出

(単位：円)

款	項	目	予算額	支出済額	増減額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	161,000	0	△161,000	書面会議
	2 事務費	1 事務費	758,000	749,030	△8,970	職員旅費、車両リース
2 事業費	1 事業費	1 事業費	5,155,000	4,733,449	△421,551	生物多様性保全活動 2,867,924
						火打山自然再生プロジェクト (クラウドファンディング) 充当事業 1,089,825
						奥山里山里川再の再生・保全プロジェクト 0
						ホームページの運営 175,450
						環境サポーターズ制度推進費 142,650
						希少野生動植物保護活動 0
						ミズバショウ増殖事業 0
						笹ヶ峰高原除草清掃活動 (環境省委託費充当事業) 457,600
3 予備費	1 予備費	1 予備費	126,000	0	△126,000	
次年度繰越金			0	633,389	633,389	
合計			6,200,000	6,115,868	△84,132	

【次年度繰越金の内訳】 寄付金及び寄付による事業の執行残額は、次年度へ繰越す。

項目	金額	摘要
繰越金	170,844円	令和3年度までの寄付金等
諸収入	142,370円	令和4年度の寄付金等
火打山再生プロジェクト	320,175円	予算1,410,000円(R3クラウドファンディング)から執行額1,089,825円を差し引いた320,175円。
合計	633,389円	

※1…市負担金の執行残額148,346円は、市会計へ戻入する。

【収入の部】

- ・ビジターセンターに新たに設置した募金箱による寄附が76,825円となり予算を上回った。

【支出の部】

- ・事業費について支出済額が予算を下回っているが、事業報告のとおり全ての事業を実施した。

令和4年度 入域料事業報告について

1 予算額3,500,000円

- ・ライチョウ保護対策事業 1,500,000円
- ・登山道整備事業 2,000,000円

2 決算見込み額

2,844,105円 (執行残額655,895円は令和5年度へ繰越)

3 事業内容

(1) ライチョウ保護対策事業

妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務

決算見込額：1,344,105円

執行残額：155,895円 (R5ライチョウ保護対策事業へ繰越)

受託者：一般財団法人上越環境科学センター

箇所：ライチョウ平

内容：①センサーカメラ調査(7月～11月)

②環境改善事業(イネ科植物除去)

③ライチョウ捕食者に係る糞調査(笹ヶ峰登山口～影火打)

④ベニヒカゲ等高山蝶の出現状況調査

⑤ライチョウ捕食者調査

(2) 登山道整備事業

決算見込額：1,500,000円

執行残額：500,000円 (R5登山道整備事業へ繰越)

受託者：一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント

【その1】

箇所：妙高山登山道(天狗堂～光善寺池 約500m)

内容：近自然工法による登山道整備 14日間 延べ56人工

【その2】

箇所：クサリ場

内容：クサリの架け替え

4 その他

(1) 入域料協力者への観光施設等での割引特典

- ・妙高高原ふれあい会館と連携した入浴の割引

(2) 入域料事業の広報

- ・ヤママップウェブサイトに入域料の記事を掲載することによる、ヤママップアプリの使用者への広報

(3) 山岳用携帯トイレの普及啓発

①山岳用携帯トイレの販売

- ・笹ヶ峰登山口 登山口自動販売機 82個
- ・燕温泉登山口 大日屋売店 2個
- ・道の駅あらい くびきの情報館 4個

②山岳用携帯トイレの回収

- ・笹ヶ峰登山口、燕温泉登山口に携帯トイレ回収ボックスの設置及び週1回程度の回収

【参考】観光商工課事業

- ・携帯トイレブースの設置：オオシラビソ林及び天狗堂

令和4年度 妙高戸隠連山国立公園火打山周辺における
ライチョウ生息地回復調査業務 概要

1 調査概要

(1) センサーカメラ調査

1) 内容

ライチョウ平の環境改善事業区内に向けてセンサーカメラを6基設置し、ニホンライチョウ他の出現状況をモニタリングした。

2) 撮影期間

8月8日～10月27日

- ・メンテナンス8月23日～26日
- ・中間データ抽出9月12日

3) 調査結果（主なもの）

種	撮影回数		
	R 2	R 3	R 4
ノウサギ	34	56	0
キツネ	2	144	136
ライチョウ	2	7	0

4) 考察

- ・キツネの撮影回数が多く繁殖した可能性が高い。
- ・ノウサギが撮影されていないことから、キツネの捕食により減少している可能性がある。
- ・ノウサギの減少によりライチョウの捕食圧の上昇が懸念される。
- ・ライチョウの撮影はなかったが、足跡や糞は確認されている。

(2) イネ科植物の除去作業

1) 内容

ライチョウ平作業区（40m×60mと30m×40mの2区画）のイネ科植物について、ハサミ等を使用し地際での刈り取り。

2) 作業期間

8月24日～26日

3) 作業結果

参加人数延43人、除去量延822.4kg

4) 考察

- ・対象区との比較により、イネ科植物の生育は一定程度抑制されている。

(3) ライチョウ捕食者に係る糞調査

1) 内容

笹ヶ峰登山口から影火打付近までの登山道左右1 m計2 mの調査範囲において、確認できるキツネ、テン等ライチョウの捕食種の糞を記録、採取する。

2) 調査期間

9月12日～13日、10月27日～28日

3) 調査結果

65個の糞を記録、20個の糞を採取した。採取の基準はライチョウの捕食の可能性が高い、高谷池ヒュッテより標高の高いところで発見した食肉目と思われる種の糞とした。

4) 考察

目視等の結果、鳥類の捕食は確認できていないが、火打山山頂周辺における捕食者の痕跡は多数確認されていることから継続して注視する必要があるとともに、被捕食者であるノウサギ、ネズミ類その餌動物や植物について、長期的な観測が必要と考えられる。

(4) 高山蝶のモニタリング

1) 内容

- ① ライチョウ平事業区から影火打方面へのルートセンサス調査
- ② ライチョウ平事業区及び山頂直下事業区における定点調査

2) 調査期間

- ① 8月4日～5日
- ② 8月5日

3) 調査結果

4科11種のチョウ類の確認

4) 考察

- ・高山蝶ではベニヒカゲのみの確認であった。
- ・影火打方面におけるベニヒカゲの確認が多いことから、主な発生地源と考えらえる。
- ・文献調査の結果、火打山におけるチョウ類の調査文献が発見されなかったことから、環境をモニタリングするために時期や回数を増加させることが好ましい。

(5) 高谷池ヒュッテにおけるライチョウ捕食者の確認

1) 内容

令和3年11月4日から令和4年4月15日まで撮影した高谷池ヒュッテ内のセンサーカメラの画像を確認し、高谷池ヒュッテという人工物に起因するライチョウの捕食者となる動物の状況を確認した。

2) 期間

令和3年度に撮影した画像を令和4年度委託において解析したものの。

3) 結果

テン、ヒミズ族、トガリネズミ科が、36回撮影された。

4) 考察

令和3年12月4日から令和4年2月9日まで複数回テンが撮影された。テンが撮影されなくなった後、ヒミズ族等が確認された。

カメラと一緒に設置した筒ワナの作動状況も記録されており、この結果からワナの改良をしていく。

令和4年度 入域料特別会計決算報告について

【収入】

	予算額	収入済額	増減額	備考
負担金	132,440	120,569	-11,871	市から会議費負担金
協力金	4,400,000	4,124,810	-275,190	入域料総額
繰越金	3,442,691	3,442,691	0	R3からの繰越金
諸収入	24,869	1,049,708	1,024,839	クラウドファンディング 997,669円 携帯トイレ売上等 52,039円
合計	8,000,000	8,737,778	737,778	

【支出】

	予算額	収入済額	増減額	備考
会議費	132,440	120,569	-11,871	部会謝金等
事務費	150,000	99,440	-50,560	標柱作成
広告費	200,000	106,975	-93,025	入域料チラシ作成
ライチョウ保護対策事業	1,500,000	1,344,105	-155,895	ライチョウ生息地回復事業委託
登山道整備事業	2,000,000	1,500,000	-500,000	登山道整備、クサリ架け換え委託
収受員賃金	400,000	378,780	-21,220	笹ヶ峰収受員賃金
燕管理費	60,000	55,640	-4,360	燕温泉登山口管理費
協力者記念品	900,000	857,175	-42,825	キーホルダー9,000個
山岳用携帯トイレ購入	50,000	0	-50,000	R4購入無し
事前決済手数料	10,000	3,312	-6,688	事前決済手数料
繰越事業費	2,500,000	4,266,082	1,766,082	R5事業費
予備費	97,560	5,700	-91,860	行動食仕入れ（自動販売機用）
合計	8,000,000	8,737,778	737,778	

市負担金132,440円－会議費支出120,569円＝市会計への戻入額11,871円

【収入の部】

- ・入域料は減額となった。笹ヶ峰登山口収受額が7月前年比82%であり、天候によるものが大きい。9月以降市による誘客施策の実施もあり、10月は前年比115%となった。
- ・新たなクラウドファンディングにより、ライチョウ保護活動の原資となる寄付金997,669円を確保した。

【支出の部】

- ・登山道整備事業について、事業は市環境生活課所管約200万円の工事を実施し、内環境会議が150万円負担したものの。執行差額は、令和5年度同事業へ繰越す。
- ・繰越事業費は、令和4年度に実行したクラウドファンディングにより寄付を受けたため大きく予算を上回ったもの。

令和5年度 生命地域妙高環境会議事業計画（案）について

1. 生物多様性保全活動の推進

- いもり池のスイレン等外来生物（植物）の駆除活動の実施
 - ・池の平温泉協議会との連携によるスイレン駆除活動
 - ※防草シートの湖底への敷設 1,280 m²
 - ※専用ボートによるスイレン駆除作業
- いもり池湿原ヨシ刈り活動
- オオハンゴンソウの駆除活動（笹ヶ峰高原及びいもり池周辺）

2. プロジェクトの推進

- 火打山自然再生プロジェクト
 - ・クラウドファンディング充当事業
「妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務」
- 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト
 - ・ふる里の川普請（渋江川クリーン作戦）
 - 《関連事業》
 - ・登山道整備（妙高市観光商工課）
 - ・里山の保全活動（妙高里山保全クラブ等）
 - ・ニホンジカ行動把握調査（森林管理署）
 - ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲技術者講習会（新潟県、妙高市環境生活課）

3. 情報発信機能の充実

- 火打やまナビ（スマートフォンを活用した情報提供システム）の運用
- 環境会議公式ホームページによる情報発信（ホームページの一部改修）

4. 環境サポーターズ制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動やプロジェクトを実施するためのボランティア団体の運営及び会員募集
- 環境サポーターズスキルアップ講習会の開催
- 環境サポーターズには、国立公園オリジナルTシャツ及び活動キャップの進呈

5. 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に則った指定希少野生動植物の保護
 - ・指定希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板設置
 - ・希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動
 - ・（新）指定希少野生動植物の現地調査

6. (新) 夢見平湿原保全活動

- 夢見平湿原現況把握調査
- 夢見平遊歩道の現地調査

7. 笹ヶ峰高原除草清掃活動

- 笹ヶ峰高原における遊歩道の除草及び清掃活動

8. エコツーリズムの推進

≪関連事業≫

- ・自然体験プログラムの提供 (妙高高原ビジターセンター)
- ・チャレンジキャンプ2023 (国立妙高青少年自然の家)

9. 自主財源の確保

- クラウドファンディングの実施、各種寄付金の受付

令和5年度 生命地域妙高環境会議一般会計予算（案）について

1. 収入

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較(A-B)	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	6,148,551	5,419,000	729,551	市負担金（クラウドファンディング寄付額1,674,000円含む。）
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	633,389	170,844	462,545	令和4年度からの繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	532,000	532,000	0	環境省からの委託費
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	86,060	78,156	7,904	寄付金、利息ほか
合 計			7,400,000	6,200,000	1,200,000	

2. 支出

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較(A-B)	備考	
1 運営費	1 会議費	1 会議費	161,000	161,000	0	委員謝金、費用弁償	
	2 事務費	1 事務費	758,000	758,000	0	事務消耗品、車両管理費、ピンバッヂ作成費	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	6,347,000	5,155,000	1,192,000	生物多様性保全活動	
						・スイレン駆除	2,800,000
						・オオハンゴンソウ駆除	195,000
						プロジェクトの推進	
						・火打山自然再生	2,000,000
						・渋江川クリーン作戦	30,000
						ホームページ運営費	180,000
						環境ポータル制度推進費	450,000
						希少野生動植物保護活動	30,000
						ミズバショウ増殖事業	30,000
夢見平湿原保全活動	100,000						
笹ヶ峰高原除草清掃活動 (環境省委託費充当事業)	532,000						
3 予備費	1 予備費	1 予備費	134,000	126,000	8,000		
合 計			7,400,000	6,200,000	1,200,000		

【収入の部】

- ・市からの負担金及び前年度繰越金による収入の増額。

【支出の部】

- ・火打山自然再生プロジェクトCF1,674,000円とR4繰越320,175円で、前年度より増額となっている。火打山ライチョウ生息地回復事業の事業拡大に対応する。
- ・基本的に例年どおりの事業を実施する予定。

令和5年度 入域料事業計画（案）について

1 実施内容

(1) 収受箇所

①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口 ④事前決済

(2) 収受期間

令和5年7月1日（土）から10月31日（火）まで

(3) 収受方法

①笹ヶ峰登山口及び②燕温泉登山口

- ・土日祝日等登山者が多く見込まれる日の午前5時から午前10時まで収受員を配置し有人による収受を行う。
- ・令和4年度まで有人収受は笹ヶ峰登山口のみであったが、令和5年度からは燕温泉登山口の収受率の向上を図るため有人で実施する。
- ・収受員賃金等収受コストの効率化を図るため、収受員の配置日数は概ね令和4年度を上限とし、笹ヶ峰登山口と燕温泉登山口で交互に収受員を配置するなどの措置を取る。
- ・収受員が配置されていない時間については、入域料箱による無人の収受活動とする。
- ・燕温泉登山口において深夜早朝の入山が想定されていることから、入域料箱にセンサーライトを設置し、視覚の誘導を図る。

③新赤倉登山口（スカイケーブル乗り場）

- ・終日入域料箱による収受（スカイケーブル運行開始後）

④インターネットを利用した事前決済（R3年度からの継続）

- ・クラウドファンディング事業者（Syn cable）との契約により実施

(4) 金額

500円（任意）

2 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業 2,500,000円

①妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務
予算額：500,000円

※生命地域妙高環境会議一般会計と合算事業（合算2,174,000円）

箇所：ライチョウ平事業区

内容：環境改善事業

- ・センサーカメラ調査
- ・イネ科植物除去作業
- ・ライチョウ捕食者に係る糞調査
- ・高山蝶モニタリング
- ・高谷池ヒュッテにおけるライチョウ捕食者の確認

②令和5年度頸城山塊ライチョウ個体数調査法検討事業

予算額：1,000,000円

箇所：火打山及び焼山周辺

内容

- ・個体数推定方法レビュー
- ・個体数調査

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査

予算額：1,000,000円

内容

- ・令和3、4年度にライチョウ生息地回復事業で採取したライチョウの捕食が予想される動物の糞のDNA調査を行う。
- ・この調査により、ライチョウの捕食状況やライチョウ捕食者のこの地域における密度を推定し、ライチョウの置かれている環境をモニタリングする。

備考

- ・当地域のライチョウ捕食圧の現状を確認するため本件事業に着手した。
※環境省担当官と協議済み
- ・当初1検体8万円のDNA解析費用を見込み6検体約50万円の想定で民間登山地図アプリ企業の取り組むクラウドファンディング「ヤママップファンディング」を利用した（令和4年度）。
- ・クラウドファンディングの結果、予想を大きく上回り16,624人から997,669円の寄付を受け付けた。
- ・令和5年度において環境省協力のもと、大学等の研究機関を活用し糞に含まれるDNAを分析する。
- ・予想を上回る予算を活用し、また1検体あたりのコスト削減を検討しながら効率的な事業の進捗を図る。
- ・この調査の結果を受け、ライチョウの捕食者対策を検討する。

(2) 登山道整備事業 1, 810, 000円

①妙高山・火打山地域における登山道整備事業

予算額：1, 210, 000円

箇所：妙高山登山道（光善寺池～クサリ場 約500m）

内容：近自然工法による登山道整備

②火打山登山道靴洗い場設置

予算額：200, 000円

箇所：火打山笹ヶ峰温泉登山口付近

内容：笹ヶ峰登山口入口付近に靴洗い場の検討、設置

③妙高山登山道クサリ場修繕

予算額：200, 000円

箇所：妙高山登山道クサリ場

内容：クサリ支点数、ロープの張替え検討、実施

【備考】既存ロープの劣化が進んでいることから、ロープの必要性や設置方法などを検討した上で実施

④火打山登山口入山者数カウンター設置

予算額：200, 000円

箇所：火打山笹ヶ峰温泉登山口付近

内容：笹ヶ峰登山口からの登山者数を計測するカウンターを設置

3 その他

- (1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典（例：入浴割引ほか入域料特別特典など）を受けることができる取組を実施
- (2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）
- (3) 山岳用携帯トイレの普及啓発（笹ヶ峰登山口及び燕登山口での販売、登山口近隣旅館業者に対する取扱いの依頼）
- (4) 入域料電子決済の導入（P a y P a y）
- (5) 入域料周知啓発のため、妙高高原ビジターセンター及び関山駅駅舎サロン（協議中）に入域料紹介ブース（試行収受箇所）を設置。

令和5年度 入域料特別会計予算（案）について

1. 収入

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	132,440	132,440	0	市から負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,600,000	4,400,000	200,000	@500円×9,200名
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	4,266,082	3,442,691	823,391	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	51,478	24,869	26,609	携帯トイレ売上、預金利息等
合 計			9,050,000	8,000,000	1,050,000	

2. 支出

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	132,440	132,440	0	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	1 事務費	200,000	150,000	50,000	収受に係る消耗品、自動販売機管理等
	3 広告費	1 広告費	250,000	200,000	50,000	告知チラシ等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	5,830,000	4,920,000	910,000	ライチョウ保護対策事業費 2,500,000円
						登山道整備事業 1,810,000円
						収受員賃金 400,000円
						燕管理費 60,000円
						協力者記念品(@100円×10,000個) 1,000,000
						携帯トイレ購入(@250円×200個) 50,000
	事前決済手数料 10,000					
2 繰越 事業費	1 繰越 事業費	2,500,000	2,500,000	0	次年度ライチョウ保護対策事業及び 登山道整備事業等へ充当	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	137,560	97,560	40,000	
合 計			9,050,000	8,000,000	1,050,000	

【収入の部】

- ・ 協力金について登山者の増加施策、収受率の向上により前年度予算20万円の増額を目指す。

【支出の部】

- ・ 令和4年度クラウドファンディング充当のライチョウ保護活動により事業費が増額となっている。

委員名簿

任期：R4.4.1からR6.3.31まで

氏名	委員（所属・役職）	備考
月尾 嘉男	東京大学名誉教授	議長
城戸 陽二	妙高市 市長	
中村 浩志	中村浩志国際鳥類研究所 代表理事	
濁川 明男	妙高里山保全クラブ 顧問	
長野 康之	新潟ライチョウ研究会 代表	
春日 良樹	妙高高原ビジターセンター 前館長	監事
玉木 政彦	国立妙高青少年自然の家 主任企画指導専門職	
築田 博	前 環境省 自然保護指導員	
中野 豊和	山岳ガイド代表	

氏名	顧問・アドバイザー（所属・役職）	備考
関 貴史	環境省長野自然環境事務所妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	
齋藤 裕之	林野庁上越森林管理署 総括森林整備官	
高埜 亜希	新潟県上越地域振興局健康福祉環境部環境センター環境課長	